

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

タイトル JA 飼料用米対応資金の創設

JA名 JAバンク群馬（群馬県）

1 動機 (経緯)	<p>JAグループでは、平成 26 年産米価格の下落を踏まえ、平成 27 年産における主食用米の生産抑制に取組み、適正な米価を実現していくこととしています。</p> <p>これを踏まえ、JAバンク群馬では、稲作経営者向けの短期のつなぎ資金を創設しました。</p>
2 概要	<p>飼料用米は買取価格が少額で、また、水田活用の直接支払交付金の交付時期が翌年の 1～3 月であることから、交付金を受けるまでの資金繰りを支援し、飼料用米の作付拡大を後押ししていきます。</p>
3 成果 (効果)	<p>県内 1 号案件として、米麦の生産を行う農業者に対し融資を行いました。借入者からは「交付金の受け取りは年度末。本資金により経費の支払いが出来た。」と喜んでいただきました。</p>
4 今後の 予定 (課題)	<p>今年度についても引き続き、本資金の利用が可能であることから、稲作農家を中心に積極的な推進を行っていくこととしています。</p>



【資金繰り支援のイメージ】

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	翌1月	翌2月	翌3月	
主食用米		概算金・買取代金 (7～11月頃)						概算金追加払等 (12～翌3月)			
飼料用米		買取代金 (7～11月頃)					← 資金繰りが課題 →		水田活用の直接支払 交付金交付 (翌1～3月頃)		